（一社）九州観光推進機構 活動レポート

－ 2017年3月号 －

２月のトピックス

○ タイにおける九州の魅力情報発信

（1月下旬取材（テレビ放映3月下旬を予定）：福岡県、長崎県、熊本県、鹿児島県）

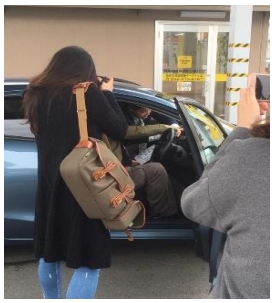
タイで発足したＢＮＫ４８および、ＡＫＢ４８Team８を活用したバラエティ番組を作成し、３月２１、２２、２３、２８日の２０：４５-２１：４５に放映します。また、タイで開催されたイベント『Ｊａｐａｎ Ｅｘｐｏ２０１７（２月１０日－１１日開催)』で九州ＰＲを行ってもらいました。イベントには、日系メディア約５０社が出席し、大手地上波テレビ局（CHANNEL３）のニュースで取り上げられる等、大きな反響となりました。

○ 韓国市場におけるメディアを活用したドライブ旅行による観光復興支援

（1月14～17日、2月1～4日、2月9～12日：九州全県）

熊本はもとより九州への韓国人観光客の回復を図ることを目的として、九州におけるドライブ旅行の魅力を韓国のＦＩＴ層に直接訴求するため、テレビ局及び新聞・雑誌社を招請し、熊本・大分を中心とした九州の状況などドライブ旅行に係る情報や、ドライブ旅行ならではの観光素材を発信しました。

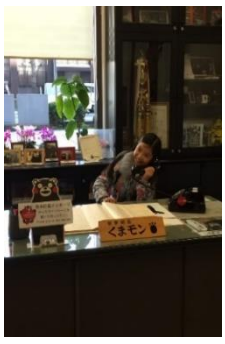
・１/１４～１７　新聞社４社４名招請　福岡県、大分県、熊本県
・２/　１～　４　雑誌社４社５名招請　福岡県、佐賀県、長崎県
・２/　９～１２　テレビ局１社６名招請　熊本県、宮崎県、鹿児島県



○ 台湾人気ブロガー招請 （2月6～10日、2月7～11日：熊本県、宮崎県、鹿児島県）

２月初旬の旧正月明けに南部九州に台湾の人気ブロガー招請を実施し、桜島大根収穫体験や火山灰アート体験、くまモンスクエア訪問、飫肥城下町の食べ歩きなど、子連れ家族旅行で楽しめる行程を体験してもらいました。

ブログ記事による情報発信は、3 月中旬までに行われる予定です。



○ ASEAN トラベルマート出展（2月7～8日:横浜市）

横浜パシフィコで開催された訪日商談会 VISIT JAPAN ASEAN + INDIA Travel Mart 2017（JNTO 主催）に参加しました。海外の旅行会社を主とするバイヤー約９３社、国内の観光関係セラー約１２０団体・地域が参加されました。

当機構は、２日間で２９社（シンガポール：４社、タイ：５社、マレーシア：８社、インドネシア８社、フィリピン２社、ベトナム２社）と商談をしました。九州には来たことがない方も多く、温泉・自然・食の情報を中心として九州をアピールしました。今後とも、東南アジアからの観光客増加を図るため九州の PR に努めていきます。

○ 九州観光ボランティアガイド研修会 in 鹿児島・指宿（2月8～9日:指宿市）

当機構と九州各県・観光連盟、日本観光振興協会九州支部で構成する実行委員会により、「九州観光ボランティアガイド研修会 in 鹿児島・指宿」が、指宿いわさきホテル及び指宿市民会館、休暇村指宿において開催され、九州各地で活躍されている観光ボランティアガイドの方々、約２２０名の参加をいただきました。本研修会は、「九州観光ボランティアガイド大会」をリニューアルしたもので、昨年の熊本に続き第３回目となります。

開会式は、開催県である鹿児島県の本観光交流局長にご挨拶いただいた後、鹿児島市の維新ふるさと館特別顧問福田賢治氏により、「先人に学ぶ　ガイドとしての心がけ」と題して基調講演を行いました。ガイドとして大切なことは正しい情報を伝えるということや、鹿児島の偉人と言われる人に共通する特性などの話に、参加者も聞き入っておられました。その後、事例発表会で各地の事例を参加者で共有し、ホテルに会場を移した情報交換会では各地の参加者との交流を深めました。

翌日は、小グループに分かれた分科会により「ガイド（団体）を楽しくする取組」などをテーマに、ワークショップ形式で話し合いを行い、観光ボランティアガイドとして求められる「おもてなしの心」の更なる醸成を図りました。

○ 第一回九州観光振興大会 in 大分・日出町（2月10日：別府湾ロイヤルホテル）

当機構と、九州７県議会の関係議員でつくる九州観光振興議員連盟共催で、各県が連携し広域的な観光振興の推進を目指すのを目的とし、第一回九州観光振興大会を開催しました。

当日は雪の影響が心配される中、若干のキャンセルは発生したものの、大会参加者２８１名、大会後の懇談会２０９名、マスコミ５社(テレビ大分・旅行新聞・大分合同新聞社・共同通信社・毎日新聞社)の参加をいただきました。

大会は、九州観光振興議員連盟近藤会長、当機構石原会長の主催者挨拶で幕を開け、来賓は、大分県副知事太田豊彦様、大分県議会議長田中利明様においで頂き、ご挨拶頂きました。九州運輸局佐々木局長、当機構髙橋本部長、グーグル合同会社陳内裕樹氏による、観光振興についての講演を行いました。

懇談会では、大分県の銘酒が振る舞われ、またアトラクションとして庄内子供神楽の催しで、花を添えました。

○ 九州アジア観光アイランド特区ガイド　スキルアップ＆マッチングセミナー開催

（2月11日：福岡市　※実務研修2月25～26日：熊本県）

九州特区ガイドの技術向上及び活動機会の拡大を目的として、初開催の昨年度に引き続き上記セミナーを開催いたしました。

午前中は「スキルアップ編」として、名刺交換などの実践を行いつつのビジネスマナー研修、言語別のグループに分かれて、実務・旅程管理研修（座学編）を行いました。

午後は「通訳ガイドと通訳ガイド取扱事業者とのマッチング会」を開催しました。通訳ガイド３３名（うち九州特区ガイド２６名)、通訳ガイド取扱事業者７社１２名が参加し、個別に面談を行いました。

双方とも「良い話ができた」との声が多く、このセミナーを契機として、九州特区ガイドの更なる活躍が期待されます。

後日行われました実務研修では、バスの運転手との打ち合わせ、訪問先へ連絡、宿泊施設の確認事務等について、業務を実践しました。移動中も、ガイド業務と通訳業務を行い、スキルアップに繋げました。

○「九州オルレ」マスコミ・旅行社等招請（2月17～20日：福岡県、鹿児島県）

韓国のマスコミ１６社及び旅行社１４社等を招請し、今年度オープンした九州オルレ「出水コース」、「みやま・清水山コース」及び周辺の温泉を中心とした九州観光の魅力の情報発信と、旅行商品の造成促進を図りました。

○ 九州オルレ新コース現地視察研修＆踏破者モニターツアー

（2月18～2月19日：出水市、みやま市）

第６次九州オルレオープンを記念して旅行社の現地視察研修と踏破者を対象に特別モニターツアーを開催しました。今回で１９コースになり、より多くの方へ九州オルレを認知していただき誘客に結び付けたいです。

参加者は、旅行社&アウトドアショップ１４社（１９名）踏破者モニター（１８名）計３７名。

○ 広島・九州沖縄観光物産展出展（2月18～19日：イオンモール広島祇園）

九州各県及び日本観光振興協会との連携により開催しました。

テレビ新広島（ＴＳＳ）と連携し、TV 番組と連動した観光展、物産展を実施、広島エリアでの九州観光 PR 及び誘致促進を図りました。

２月１７日はテレビ番組の生放送に出演し、その後新聞社 4 社を訪問、イベントへの来場促進、九州への誘客活動を実施しました。

観光展当日はくまモンの登場や各種イベントを行い、九州の魅力を来場者に伝えました。

２月１８日～１９日　全館来場者数　８１，８９６名（前年同曜日比：１２０．９％）

○「ほっと@九州フェア２０１７」開催（2月25～26日：名古屋市 （久屋大通公園））

ＪＲ東海、ＪＲ西日本、ＪＲ九州と共催し、中京圏における鉄道タイアップ事業の一環として、「ほっと＠九州フェア２０１７」を開催しました。当日は九州７県の観光ＰＲ、飲食、物産の各ブース、多彩なステージイベントなどが展開されました。今年は熊本地震からの復興ＰＲに力を入れるなどした結果、２日間で前年を超える１１万８，０２４名（前年比１５８％）のお客様に来場頂き、九州全体がひとつになって九州の魅力を発信することができました。

○「九州教育旅行ふっこうセミナー」（2月27日～3月1日：熊本県、長崎県、鹿児島県）

昨年 4 月に発生した熊本地震は、修学旅行の分野においても多くの学校の取消しや行先変更等多大な影響を及ぼしました。早期に九州修学旅行のふっこうを目指すべく、全国の旅行会社及びマスコミ関係者を招き「九州修学旅行ふっこうセミナー」を阿蘇で実施し、九州修学旅行の PR や地震後の実施校の事例発表を行いました。

参加者人数・旅行会社 56 名、マスコミ 8 社、九州側 70 名（県、連盟、市町村受入施設、機構）

翌日からは、長崎コースと鹿児島コースに分かれ 1 泊 2 日の現地視察会を実施。旅行会社担当者に今後の修学旅行の企画に役立ていただく為に、主な修学旅行の素材を実際に見聞してもらいました。

熊本城ではクマモンが登場し、実際の修学旅行同様のサプライズも体験していただきました。

○ 北京からの誘客促進等のための中国メディア・旅行会社招請事業

（2月27日～3月3日：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県）

中国国際航空の協力を得て、北京を中心とした地域から、有力メディアや九州商品の造成に意欲的な現地旅行会社を招請しました。

各種媒体を通じて九州の認知度向上を図るとともに、九州への誘客促進を図ります。

○ 中国重慶市及び成都市における「九州観光推進機構、佐賀県、長崎県観光説明会」

（2月下旬：中国重慶市及び成都市）

中国重慶市及び成都市において、複数県連携事業として、旅行会社等を対象とした「九州観光推進機構、佐賀県、長崎県観光説明会」を開催し、佐賀県及び長崎県、その他九州各県の観光の魅力をアピールしました。

◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 九州観光推進機構サイトの会員向け情報ページに「観光統計情報」を掲載（３/１６）

「九州の外国人入国者数の推移について～平成２９年１月（速報値）、平成２８年１２月(確定値)」を掲示しました。ぜひご活用ください。

なお、会員向け情報ページを閲覧するには、ＩＤとパスワードが必要になります。ご不明な点は下記お問い合わせ先までお願いします。

○ 人事往来

３月に事業本部スタッフの人事異動がありましたので、よろしくお願い申し上げます。

【転入者】　［　］内は派遣元

国内誘致推進部次長　　黒瀬　文敏［東武トップツアーズ㈱］

海外誘致推進部次長　　山本　克己［日本航空㈱］

○ ３月以降の主な事業

・ASEAN 市場における旅行商品即売会等出展（１１月～３月：タイ・マレーシア・インドネシア）

・九州のナショナルパーク等の魅力発信による台湾からの観光復興支援

（３月５～９日：熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

・九州への誘客促進のための欧州市場における有力メディア招請

（３月１６～１９日：福岡県、熊本県、大分県）

・平成２９年度下期九州観光素材説明会・相談会

（４月２７日、５月１７日、５月１８日、５月２２日、５月３０日：東京、名古屋、大阪、広島、福岡）

◇◇ お問い合わせ先 ◇◇

一般社団法人　九州観光推進機構　企画部 柴田、弓削、坂口

TEL:092-751-2943（代表）

092-751-2946（国内誘致推進部ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

092-751-2947（海外誘致推進部ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

092-751-2951（九州観光広報ｾﾝﾀｰﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

FAX:092-751-2944

E-mail：infokyushu@welcomekyushu.jp

～編集後記～

２月号ではスペースの関係で書けませんでしたが、今月は思い切って書けます。では、第3回目。

３月に入り暖かくなったかと思いきや、まだまだ風が冷たい今日この頃です。
会員の皆様におかれましては、お風邪等召されませんようお気を付けください。

風は冷たくとも、咲き始めた梅や桜に春を感じますね！九州各地のお花も「九州旅ネット」や「九州観光推進機構公式 Facebook」等でご紹介しておりますのでぜひご覧ください。わたしもどこかにお花見にいきたいな～、イチゴとか桜餅とかいっぱい食べたいな～とぼんやり思案中です。また、春はオルレにも、マラソンにも、サイクリングにも絶好の季節ですよ！恥ずかしながら、まだオルレに行ったことがない私も今春初オルレに取り組みたいと思います！（坂）

最近、地元の佐賀県唐津市に帰りますと、観光地でもなんでもない場所で女性の２人組などをよく見かけるようになりました。何かといいますと、唐津がモデルになったアニメ「ユーリ・オンアイス」の聖地巡りの様子なのです。アニメと実際の街並みと似た風景が唐津にたくさんあります。5/7 までコラボイベントもあります。興味がある方はぜひ、聖地巡礼に行かれてみてはいかがでしょうか。(柴)

出会いのときがあれば、別れのときもあります。

陸の孤島の井の中の蛙が福岡にやってきて「こんなに楽しいの～！」とワクワク感がはち切れそうなときに、「４月からは地元で！」との（非情な）帰還命令。福岡を離れる寂しさが・・・、でも４月からは気持ちを切り替えて、地元、日本のひなた“みやざき”で、観光振興、地域振興など県民の生活向上のため頑張ります。

どうか皆さまも九州観光の益々の発展にお力添えお願いします！

「九州はひとつ」です！（You）